

山上の経験

マルコによる福音書九章13節

すると、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、衣は真っ白に輝いた。それは、この世のどんなさらし職人の腕も及ばぬほどだった。(2、3)

イエスはペトロ、ヤコブ、ヨハネの三人だけを連れて山に登られました。主イエスが祈っておられる間に、そのお姿が栄光に輝く姿へと変えられました。「変貌」と呼ばれるこの出来事は、主イエスがここで別の存在になられたというわけではなく、主イエスはもともと天に属する存在だったことを示しています。これまでそのことが人間の目には隠されていただけでした。この祈りの場において、イエスが神であることがはっきりと現れたのです。弟子たちは、このお方が神の子救い主であると確信して、山を下り、生活の場へと戻っていききました。これは私たちの日々の祈りの場でも起こることです。神との親しい交わりにおいてこそ、主イエスがいかなるお方であるかを新しく見せていただくことになります。その主イエスとともに、私たちは今日一日の生活の場へと遣わされていくのです。